



公明こうべ

2019年
vol.5

発行：公明党神戸市議員団 神戸市中央区加納町6-5-1
<http://www.kobe-komei.net>



こどもの笑顔があふれるまちに

いよいよ10月より幼保無償化がはじまりました。子育て世帯の負担が更に軽減され、多くの喜びの声が届いています。この無償化により、市が単独で活用できる財源が生まれたことで、更に子育てしやすい環境を整えるよう強く訴えました。

たとえば①給食費の無償化や②多子世帯の保育料の更なる軽減、③学童保育利用料の軽減、④こども医療費助成の拡大⑤保育士さんの処遇の改善、⑥今回対象とならない0歳～2歳児の無償化、⑦きょうだいと同じ保育所に入所できる仕組み作り等を提案しました。



第2回定例市会より

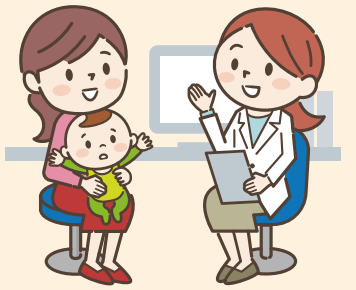
教員間の暴行事案など教育委員会の諸課題に関するもののほか、近年頻発している災害への対策、そして公明党がリードして10月から始まった幼児教育・保育の無償化への対応や、高齢者の運転事故防止策など、幅広い議論が行われました。

トピックス

1 10月より 新生児聴覚検査費用を助成

新生児の聴覚障害を早期に発見し、早期養育・支援につなげ、こどもの健全な成長・発育を促します。

- 検査は出生後、新生児期の入院中に実施
- 自動ABR検査 5,000円(上限)
- OAE検査 3,000円(上限)



2 「こべっこウエルカムプレゼント」カタログギフトを贈呈

2019年4月2日以降に生まれた子を対象に、**第1子は10,000円分、第2子は15,000円分、第3子は30,000円分相当のカタログギフト**でお祝い!(受付は令和2年1月頃を予定)



3 北神急行電鉄 谷上～三宮間が280円に

2020年6月1日から市営地下鉄西神・山手線との一体運行が始まり、**谷上～三宮間の料金はほぼ半額の280円**になる予定。また、谷上と北区の神戸北町にはバス路線を新設する方針が打ち出され、大幅な運賃値下げで利便性が向上し、市北部の活性化が期待されます。



市営化が決まった北神急行電鉄

4 事故防止装置の設置補助が開始

兵庫県が10月から、75歳以上の高齢者を対象に、2万2000円を上限に、事故防止装置の設置補助制度を開始。

また、神戸市では、県の補助に加え、**10月23日分より1万1000円上乗せ助成**が始まりました。

補助対象装置は、

- ①アクセルを急激に踏み込んだ場合にセンサーが異常検知し、急加速を抑制する急発進抑制タイプ
- ②一定範囲内の障害物をセンサー等が検知した場合、アクセルの急激な踏み込みに対し加速を抑制する障害物感知タイプ



■事故防止装置の補助制度

兵庫県(10月～)75歳以上
22,000円(上限)

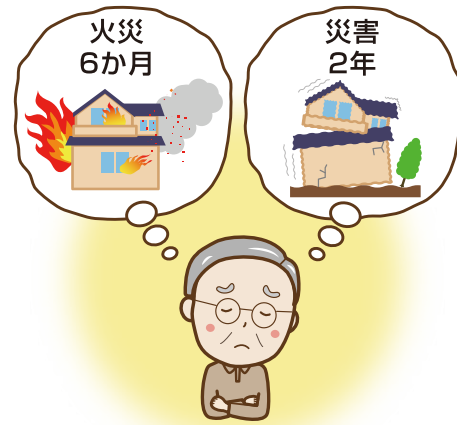


神戸市(10月23日～)
11,000円(上限)

合計 **33,000円**

火災被災者の 使用期限延長を

自然災害や火災で家を失った被災者が市営住宅を一時的に使用できる制度について、使用期間が「火災被災者は最長で6か月」、「災害被災者は2年まで延長可能」と差が生じています。火災被災者が住宅を再建する場合、現在の使用期間である6か月を超えることがあるため、個々の状況に応じて柔軟に使用期日を延長すべきと指摘したところ、久元市長から「火災被災者の市営住宅の一時使用期間について検討していく」と前向きな答弁がありました。



全小学校に 蓄電池を配備

台風15号による千葉県での停電を踏まえ、本市の避難所に災害用の蓄電池を配備すべきと要望したところ、副市長から「災害時の避難所におけるエネルギーの確保は非常に重要である。緊急避難場所となる市立小学校163校への蓄電池の配備を、9月末に設置を完了した。今後、市立小学校以外の緊急避難場所への蓄電池設置については、前向きに検討したい」と答弁がありました。



市内の小学校に配備された蓄電池

無電柱化の促進を要望

都心部や観光地等景観に配慮すべき地区・路線において無電柱化に取り組んでいます。電柱に比べ10〜20倍の費用がかかりますが、なかなか整備が進んでいません。無電柱化は停電の防止や早期復旧、移動空間の確保や景観にもメリットがあることから促進するよう要望しました。

無電柱化

メリット

- 移動空間の確保
- 停電の防止
- 早期復旧
- 景観

デメリット

- コストが10〜20倍(地下埋設)



神戸市内でも台風で大きな被害が

好評!

こべっこあそび広場

7月に北区の岡場駅近くに大型遊具を備え、就学前のお子さんを持つ保護者が子供と一緒に気軽に訪れ、天候に関係なく思いっきり遊べる施設ができました。また、子育て情報の発信や子育て相談の機能も備えています。現在、市は東部と西部の利用者の方が訪れやすい身近な場所に設置できるよう調査を行っており、子育て中の親子が孤立感や負担感を抱くことのないよう取り組んでいます。



こべっこあそび広場で遊ぶ親子

扇情と理性 — 児童の気持ちを第一に —

教師の集団による「いじめ」が世間を騒然とさせた。現場の動画がワイドショーに流され、数多の抗議が教育委員会に議会に殺到した。さらに自宅待機の彼らが、有給休暇扱いであったことでさらに批判を浴び、異例のスピードで条例改正が行われ、給与支払い停止が決まった。

しかし分限懲戒審査会は4人の加害教諭への処分は改正条例に照らし「不相当」と判断し、市長は「完全に条例の解釈を誤っている」と批判。条例改正の難を指摘する新聞社の社説にも反論。

この事態を肝心の児童たちはどう見るだろうか。落ち着いた教育環境を保障するのが大人の務め。評価の高かった教師がなぜとの疑問は調査結果を待たねばならないが、「集団心理」のなせるわざではない

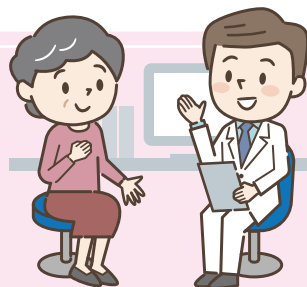
か。しかしまた彼らを強行に処分した背景もマスメディアやSNSで増幅された「集団心理」ではないか。

扇情の前に理性を保つことは極めて難しい。しかしその責任を担うべき我々は子どもたちに何を示すべきか真剣に考え、行動したい。



ご存知ですか?

認知機能検診の 無料受診券を送付(75歳以上)



本年1月より、市内の65歳以上の方に対して認知症の受診を支援する診断助成制度と、認知症の方が事故に遭われた際に救済する事故救済制度を組み合わせた認知症「神戸モデル」を実施しています。

7月より更なる受診勧奨のため、市内の75歳以上の方に、認知機能検診の受診券(無料)を送付しています。

■送付時期

4〜6月 生まれの方	令和元年 7月上旬 発送済
7〜9月 //	令和元年10月上旬 //
10〜12月 //	令和2年 1月上旬 発送予定
1〜3月 //	令和2年 3月上旬 //

※既に認知症、MCI(軽度認知障害)と診断されている方、今年度にすでに申し込みをされている方は除きます。